

今月のみことば 2025年6月

ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。それでも、あなたがたの天の父は養っていてくださいます。あなたがたは、その鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。
(マタイの福音書 6章 25節)

心配ごとを神に委ねる

最近のニュースを見ていると心配ごとがたくさん出てきます。まずは物価高騰、お米の値段を始め食品の価格が高止まりで、一向に安くなる気配がありません。そして世界情勢、ウクライナを始めとした諸国の紛争、米中の貿易戦争など、これから世界がどのように変化していくのか一寸先もわからない状況が続いています。心の中が不安でいっぱいになってしまいやすいですが、聖書の言葉から力をいただきたいと思います。

表題の御言葉は、大勢の群衆と弟子たちを前に、イエス様が小高い山の上から話された山上の説教の一節です。イエス様は、私たちが日々の生活で意識を向けている「何を食べようか、何を飲もうか」、また「何を着ようか」といったことで心配するのをやめるように言われました。確かに最初に話したニュース等を見て、自分の生活は大丈夫かと、いつも心配してしまう自分に気づかされます。しかし日々生きていくために、何を食べようか、何を着ようか考えることは、当然必要なことです。イエス様が止めよと言われたのはどういうことでしょうか。

それは日々生じる心配ごと、悩み事で心がいっぱいになり、ふさぎこんでしまうのではなく、新しい視点「空の鳥を見て養ってくださる方を覚えなさい」ということです。働きもせず、蓄えもしない鳥たちが日々生活できるように守り、支えている方、すなわち天の神様がおられるということです。そして鳥たちよりも価値のあるものとして、神様は私たちを見てくださり、養い守ろうとしておられると言うのです。なんと幸いなことでしょうか。



この箇所には続きがあります。イエス様はただ、心配しすぎることを止めるように言われたのではなく、もっと素晴らしいものに目を留めるように言われました。続く6章33節には「まず神の国と神の義を求めなさい。・・・」とあります。神様が支配する神の国を認め、神様に従うことを通して、心配ごとを神様にゆだねて歩む喜びにあふれた人生があることを聖書は語っています。

皆様の歩みが、神様を知って喜びにあふれた歩みとなりますように。(〇)